

## 開館しました！奈良県立図書情報館の紹介

奈良県立図書情報館 乾 聰一郎



前景

平成17年11月3日、構想から10年を経て、奈良県立図書情報館が開館しました。日平均の入館者は1,600～1,800人で、開館から57日目で利用者は10万人に達し、186日目で30万人を突破しました。

図書情報館は、奈良県の新しい情報発信拠点として、新たな図書館施設のあり方を提案しています。これまでの図書館は、図書・資料の保存・利用機関としての役割を担ってきましたが、

図書情報館は、メディア環境の急速な発展・進化をふまえ、図書・資料だけではなく、ネット環境を充実させ、より幅広い調査・研究に資するとともに、情報リテラシーの向上や利用者自身の情報発信を手助けする総合情報センターとしての機能を有しています。さらに、図書情報館自身が、地元企業や行政機関、団体、外国機関等との積極的な連携により、企画展示やイベントなど、これまでにない情報発信に努めています。

他方、明治以来の県行政文書を一体的に管理し保存利用に供する公文書館機能をもつ施設でもあります。従来からの図書資料、文書資料といった枠組みを情報センター機能で統合する試みでもあります。

施設面においては、閲覧席410席のうち、約半数の席でインターネットに接続可能で（パソコン設置席：82席、持ち込みパソコン接続可能な席：110席）、文書編集などを行うこともできます。



パソコン設置席



アトリエ

アトリエやオーサリングルームなどでは、画像や動画の編集や、大型プリンターを利用したデータ出力、さらに、デジタルスタジオでは、素材の撮影や音声編集なども可能です。

専門資料スペースには、奈良県関係資料を集積した「ふるさとコーナー」や全国から寄贈された戦争に関わる記録などを集めた「戦争体験文庫」があります。また、国際交流コレクションや情報コレクションなど特色ある図書を開架しています。

一般資料スペースは、15万冊開架可能で、雑誌1,500誌のほか新聞、地図等も開架されています。また、会議、研修、講演会等に使用できる交流ホール（最大220名収容可能で、3室に分割可能、有料）や駐車場（310台）も備えています。

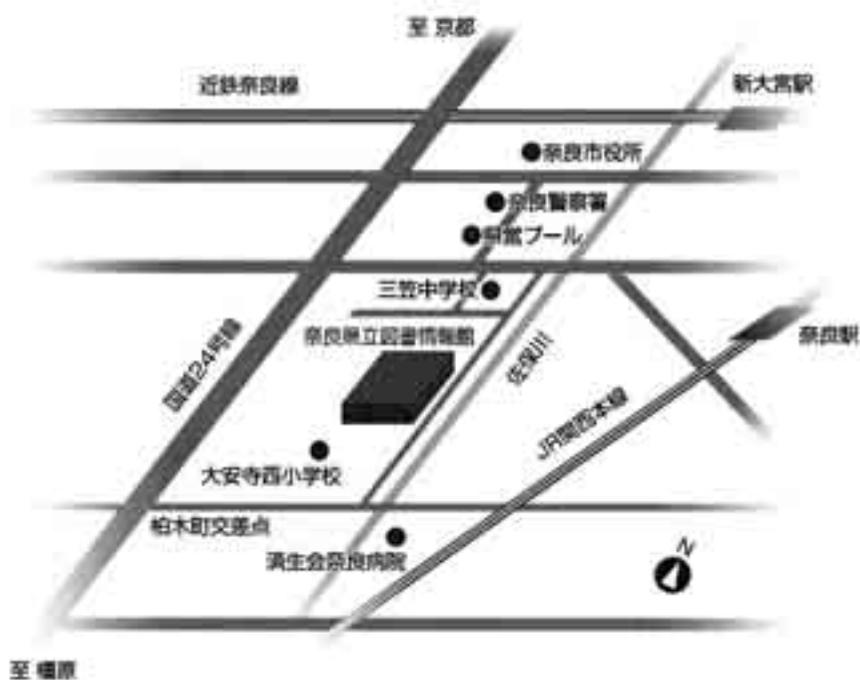


開架書架

奈良県立図書館は、これまでの図書館機能に加え、情報発信が新たな情報発信を生む、知的交流の場となるようなユニークな存在でありたいと考えています。



開館記念講演会（交流ホール）



地図

データシート

平成18年4月1日現在

- ・機関名：奈良県立図書情報館
- ・所在地：〒630-8135 奈良市大安寺西1丁目1000番地
- ・電話 / FAX / E-mail：0742-34-2111 / 0742-34-2777 / info@library.pref.nara.jp
- ・ホームページ：http://www.library.pref.nara.jp/
- ・交通：徒歩 / 近鉄新大宮駅より約20分  
 バス / 近鉄奈良駅・JR奈良駅より「県立図書情報館」行き終点15～20分  
 近鉄新大宮駅より「四条大路南町」行き「県立図書情報館西口」下車15分
- ・開館年月日：平成17年11月3日
- ・設置根拠：奈良県立図書情報館条例
- ・組織：
 

館長	副館長	司書監
サービスサポートグループ（総務・情報システム管理・情報資源整備）		
資料・情報サービスグループ		
（情報リテラシー・ビジネス行政支援・地域研究支援・交流）		
- ・建物：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階（公文書館機能部分）  
 \*特に機能により分けていない。  
 敷地面積 31,638㎡ 延床面積 11,820.91㎡
- ・収蔵資料の概要（平成18年4月1日現在）：
  - 図書、雑誌、新聞、奈良県庁文書、奈良県関係古文書、同絵図等
- ・開館日数 / 閲覧室利用者数（平成17年度11月から）：117日 / 200,135人  
 189日 / 307,369人（6 / 25現在）
- ・主な事業（平成18年度）：
  - 企画展示
    - 写真展「世界の共通語としてのサッカー」、激動の古都パリ「ベルサイユのばら」の時代展ほか多数
  - 講演会
    - 開館1周年記念講演会ほか企画展示にあわせた記念講演会、トークショーなど
  - 情報ワークショップ、トークセッション
  - PC講習
  - サロンコンサート
  - その他、関係機関、団体等との共催による展示、セミナーなど多数開催予定